特集　現代の知識

今日からできるSDGs

スターブランド㈱　村尾隆介

17項目のゴールを表現したSDGsバッジ

よく見るバッジとロゴの意味

「SDGs」という言葉をテレビなどのメディアでも最近よく見かけるようになりました。とはいえ、本当の意味で理解している人、行動できている人は少ないような気がします。

一番身近なものとしては、街でカラフルなドーナツ型のバッジをよく見かけます。スーツ姿の方もよくつけていますね。「SDGsバッジ」と言います。なんて読むのか、と思っていらっしゃる方もいるかもしれません。読み方は「エスディージーズ」。最後の「s」が小文字表記になっています。

SDGsとは、国連が主導して二〇三〇年をゴールによりよい社会を目指そうと定めた目標で、全部で十七項目からなり

は「Sustainab

続可能な開発

さな「s」は目

各十七項目に

すいマーク（アイ

色がついています。

とまったのが、あの

ルな円形のバッジなの

組み中の証に、みんな

十七項目の内容とは

例えば一番目にあるゴ

なくそう』です。それは図

クで示されています。他に

『質の高い教育をみんなに』

があります。

十三項目の『気候変動に具体

を』、十四項目に『海の豊かさ

など、さまざまな角度から今世

解決したい社会の問題点がまとま

ます。これらのマークの集合体と

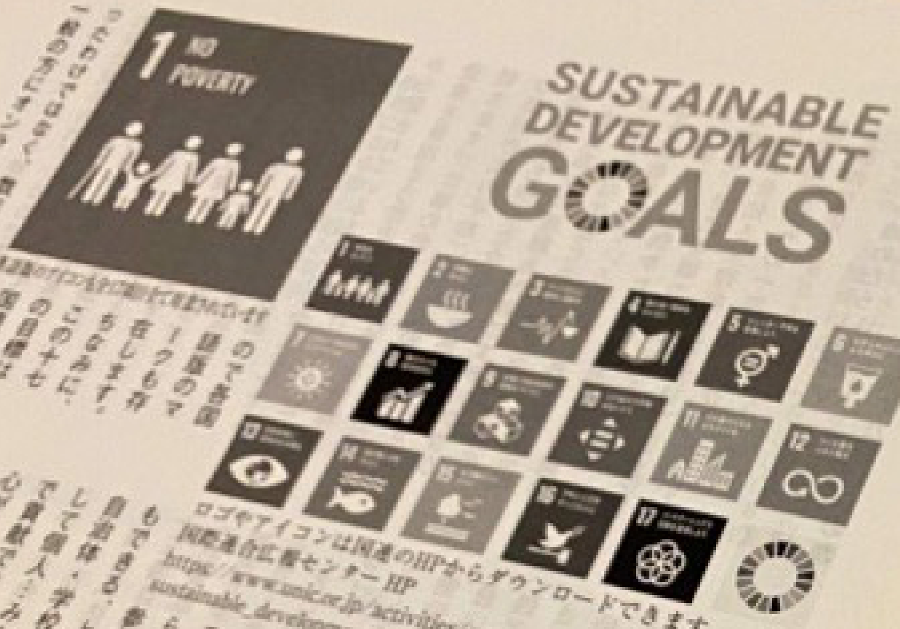
先ほどのドーナツ型のものがセット

った、このデザイン（図）。

で今よく見ますよね。

ここに例として挙げた十七のマーク

日本語版ですが、SDGsは世界共通



ロゴやアイコンは国連のHPからダウンロードできます
国際連合広報センターHP
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

[illegible]

ねた末に完成しています。

誰に対して定められたゴールか

国連主導、世界共通、十七項目のゴール。確かに壮大で自分と関係のない話。そんな風に思ってしまう人もいるかもしれません。

でも、忘れてはいけないのがSDGs全体に貫かれているキーワード「誰一人取り残さない」です。これは手を差し伸べ[illegible]

ひとり一人としても取り組むといいと思います。

取り組みやすいSDGs

全部いっぺんに取り組むというよりは、ひとり一人が、各団体が、自分のできることを見つけて行動するのが大切ということです。

例えば郵便局の場合ですと、日本全国に点在していること。年齢・性別などを問わず、その地域に住む人に近い存在で[illegible]